

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

嚥下障害診療ガイドライン 2018 年版

日本耳鼻咽喉科学会 嚥下障害診療ガイドライン作成委員会 (委員長: 兵頭政光 高知大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

金原出版、2018 年 9 月 10 日 第 3 版第 1 刷発行

Grading Scale of Strength of Evidence

- I: システマティックレビュー/RCT のメタアナリシス
- II: 1 つ以上のランダム化比較試験による
- III: 非ランダム化比較試験による
- IVa: 分析疫学的研究 (コホート研究)
- IVb: 分析疫学的研究 (症例対照研究、横断研究)
- V: 記述研究 (症例報告やケース・シリーズ)
- VI: 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見

■1 半夏厚朴湯

疾患:

嚥下障害

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

引用など:

Iwasaki K, Kato S, Monma Y, et al. A Pilot Study of Banxia Houpu Tang, a Traditional Chinese Medicine, for Reducing Pneumonia Risk in Older Adults with Dementia. *Journal of American Geriatric Society* 2007; 55: 2035-40.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ9 嚥下障害に薬物治療は有効か?』に対して、下記の記載がある。

『推奨: 嚥下障害による薬物治療は、パーキンソン病などの原因疾患に対する治療と、嚥下反射の改善などを目的とした病態に対する治療が報告されているが、その有用性に関して

確実性の高いエビデンスはない。治療の選択肢として検討してもよいが、今後の臨床研究による検証が求められる。

解説: 嚔下反射の改善により嚔下機能を改善するとされる薬剤には、ACE 阻害薬、シロスタゾール、ニセルゴリン、半夏厚朴湯の報告がある。いずれも末梢でのサブスタンス P (SP) を上昇させることで、嚔下運動の惹起が促進される効果が期待されている。

その他、シロスタゾール、ニセルゴリン、半夏厚朴湯が同様の機序で、嚔下性肺炎の発症予防や喉頭挙上潜時の短縮が報告されているものの、質の高いランダム化比較試験はなく、その有効性は不確定である。』